

東日本大震災を超えて： 大学のなすべきこと、できること

— 教育の復興なくして地域の復興と国の再生なし —

東日本大震災の被災地の一日も早い復旧を願うとともに、被災地の総合的な復興が21世紀の日本の再生モデルとなり、誇りある日本人の歴史に足跡をとめるよう、強く念願し、期待されています。

全国各地に展開する多様で多層の活力ある私立大学・私立短期大学とその関係者が共に情報を共有し、復興後の日本の在り方について考え、大学の支援の取組みを一層強固なものとするため、下記によりシンポジウムを開催いたします。

日 時： 平成24年8月8日(水) 13時～17時 (受付:12時～13時)

会 場： 郡山女子大学・同短期大学部 建学記念講堂
所在地： 福島県郡山市開成3-25-2 (裏面会場案内図参照)

参加対象： どなたでもご参加いただけます。
主催団体に加盟する大学・短期大学の関係者をはじめ、教育関係者、
地域在住の方々など、広く一般市民の皆様

申込期限： 平成24年7月31日(火)

参加のお申込は、裏面の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXにてお申し込みください。



プログラム(予定)

- | | |
|-------------|--|
| 13:00～13:10 | 主催者あいさつ
清家 篤 (日本私立大学団体連合会会長、慶應義塾長) |
| 13:10～13:25 | 来賓あいさつ
板東久美子氏 (文部科学省高等教育局長)
佐藤 雄平氏 (福島県知事)
原 正夫氏 (郡山市長) |
| 13:25～14:25 | 特別講演：「安心・安全な生活環境を求めて -子どもの未来を拓く」(仮題)
児玉 龍彦氏 (東京大学アイソトープ総合センター長) |
| 14:25～14:40 | 休 憩 |
| 14:40～16:35 | シンポジウム：「東北被災大学のこの1年の取組みと地域貢献」(仮題)
(コーディネータ) 関口 修 (学校法人郡山開成学園理事長・郡山女子大学学長)
(シンポジスト) 原 正夫氏 (郡山市長)
日高 義博 (学校法人専修大学理事長・専修大学学長)
関口 武司 (いわき明星大学学長)
遠藤 静子 (桜の聖母短期大学学長) |
| 16:35～16:55 | フロア - との意見交換 |
| 16:55～17:00 | 閉会あいさつ
佐藤 弘毅 (日本私立短期大学協会会長、目白大学短期大学部学長) |

主催：日本私立大学団体連合会・日本私立短期大学協会

日本私立大学団体連合会事務局 03-3221-7686 / 日本私立短期大学協会事務局 03-3261-9055

参加申込書はこちらからダウンロードできます。 <http://www.shidai-rengokai.jp/>

会場案内

郡山女子大学・同短期大学部 建学記念講堂

所在地: 福島県郡山市開成3-25-2 :024 932-4848



【交通】

- 東北新幹線 郡山駅下車
郡山駅より
- 路線バス 郡山女子大前下車
(片道: 250円 約30分)
- タクシー (約1,700円 15分)

参加申込

日本私立大学団体連合会事務局 宛

FAX: 03-3221-7757

参加のお申込みは必要事項をご記入のうえ、7月31日(火)までにFAXにて事務局宛にお送りください。

参加申込書

フリガナ		
参加者氏名		
所属 (勤務先、学校名、団体名等)		
部署名・役職等		
連絡先 (所在地・住所・電話・メール等)	〒	
	TEL	
	FAX	
	E-mail	

記載の個人情報は、本シンポジウム以外には使用いたしません。